

＜ 正 誤 表 ＞

頁	行	誤	正
20	21	分布率 60%	分布率 55%
20	25	トノサマガエル	トウキョウダルマガエル
22	5	サホコカゲロウ	シロハラコカゲロウ
22	5	コガタシマトビケラ	ウルマーシマトビケラ
25	図 I - 4 - 3	目標を達成されている地点	目標を達成していない地点
59	18	図 I -	図 II -
59	19	表 I -	表 II -
59	34	図 I -	図 II -
65	24	1 地点……と思われる。	文章を削除
71	表 II - 2 - 3	周縁性魚	周縁性魚
76	表 II - 2 - 6 カ	カダマシ	カダヤシ
76	表 II - 2 - 6	周縁性魚	周縁性魚
80	表 II - 2 - 7	カマツツ	カマツカ
83	表 II - 2 - 9 B. 汚れている、BOD値	(53, 53)	(5.3, 5.3)
92	8	モツゴ	モツゴ
99	表 II - 3 - 1 - 1 T 2 - 1, 地点名	王寺 王寺	王禪寺 王禪寺
106	9	破戒されても	破壊されても
220		写真右上と写真左下が入れ換え	
242	19	それ同時に……	それと同時に……
267	31	2. ウマズラハギ	ウマヅラハギ
267	33	4. サバフグ	シロサバフグ

ま え が き

近年、都市における水環境の保全・回復などの声が高まり、市民の方々にも身近な水環境である川や海への関心が深まってきており、その対応は重要な課題となってきました。横浜市においては、本市の総合計画である「よこはま21世紀プラン」で「市民が身近かに接触できる水辺空間を確保し、魚やホタルなどのすむ、きれいな水環境の保全・回復をめざす」などの目標を掲げています。その目標を達成するため、下水道整備の促進、大規模工場等の排水の水質向上を図る一方、親水性豊かな河川の整備など「水と緑の街づくり事業」を鋭意進めているところであります。その成果の一環として、市内の川や海の水質状況は一時期に比べてきれいになり、魚やホタル等の小動物が戻ってきております。しかし、まだ、市民の方々が望まれる水環境には充分ではなく、より一層の水質改善に努力することが肝要と考えています。

生物相調査は、先に掲げた目標の達成状況を確認すること、また、市民の方々に生物を通して川や海の水質汚濁の現状を理解していただくとともに、水質浄化対策事業に対する関心を深めていただくことをねらいとして、昭和48年度から実施し、今回は、第5回目となります。この生物相調査報告書は、各分野で幅広く活躍されている諸先生方を中心に御参加いただいた「横浜市内生物相調査会」に委託調査したものと及び、本市公害研究所で実施したもの等をまとめたものであります。

本報告書は、第一部と第二部からなり、第一部には、上記調査会、公害研究所が実施した調査結果の概要をまとめ、第二部には、各生物調査項目ごとの詳細な調査結果を専門的な分野から理解していただくため、諸先生の結果をそのまま記載したものであります。

この報告書が水質浄化の啓発、普及等の事業や水環境の改善事業の基礎資料として利用され、さらに、市民の方々がこの報告書を読んでいただき市内の川や海の水環境について考えていただければ幸いです。

おわりに、本調査にあたってご協力いただいた調査会の先生方には、深甚の謝意を表する次第であります。

平成元年3月

公害対策局長

根本和夫

横浜市内生物相調査会 構成メンバー

昭和62年度

氏 名	所 属	調 査 項 目
大野通胤 (会長)	モルフォ生物同好会	生物相調査結果の概要
小林紀雄	旭技術研究所	河川の底生動物
金田彰二	日本工学院専門学校	河川の底生動物
村上雄秀	横浜国立大学 環境科学研究センター	河辺植生・沈水植物
林 公 義	横須賀市人文自然博物館	海域の魚類
古賀一郎	日本大学農獣医学部	海域の魚類
古賀 敬	日本大学農獣医学部	海域の魚類
桑原 連	東京大学農学部	海域の底生動物
高橋祐次	観音崎自然博物館	海岸動物・付着動物
風呂田利夫	東邦大学理学部	潮間帯の生物
田中次郎	国立科学博物館	海藻
鳥海三郎	横浜市立東高等学校	海域のプランクトン
河地正伸	筑波大学生物科学系	海域のプランクトン
井上 勲	筑波大学生物科学系	海域のプランクトン
横浜生物調査研究会（市内小・中学校教諭）		アンケート調査

目 次

第一部 横浜市における生物調査概要

I 調査項目及び調査方法	1
II 横浜市内の川と海の概況	12
III 生物相調査結果の概要（大野通胤）	16
IV 川や海の生物からみた水質汚濁状況	21

第二部 生物相調査結果

I 河 川

1 市内河川の水質環境調査結果（公害研究所）	37
2 横浜市内河川の魚類相（公害研究所）	59
3 横浜市内河川の底生動物相	
3-1 底生動物相（小林紀雄、金田彰二、公害研究所）	97
3-2 生物学的水質判定（金田彰二、小林紀雄、公害研究所）	125
4 横浜市内の河辺植生（村上雄秀）	145
5 横浜市内の沈水植物（村上雄秀、公害研究所）	175
6 横浜市内河川の付着藻類（公害研究所）	179

II 海 域

1 横浜市沿岸域の魚類相（林 公義、古賀一郎、古賀 敬）	213
2 横浜市沿岸域の底生動物相（桑原 連）	275
3 横浜市沿岸域の海岸動物相	
3-1 海岸動物相	
3-1-1 海岸動物相（高橋 祐次）	299
3-1-2 潮間帯の生物（風呂田利夫）	317
3-2 付着動物相（高橋 祐次）	323
4 横浜市沿岸域の海藻相（田中 次郎）	335
5 横浜市沿岸域のプランクトン相	
5-1 プランクトン相（鳥海 三郎）	341
5-2 微細藻類相（河地正伸、井上 勲）	357

III アンケート調査

生物相アンケート調査（横浜生物調査研究会）	365
-----------------------	-----